

(一財)札幌市環境事業公社 情報誌 第16号

アンパス

un pas

フランス語で「一歩」の造語。一歩一歩お客様との絆を深め、
ともに環境への理解を深めるという意味を込めました。



鷺尾 静雄 作

「アンパス」第16号をお届けいたします。

今号は、札幌市環境事業公社が取り組んでいる普及啓発活動の紹介、中沼資源選別センターの施設紹介、札幌市が発表した「新スリムシティさっぽろ計画（案）」の掲載となっております。

本誌に対する皆様のご意見等がございましたら、ぜひお寄せください。

当公社では、広く市民や顧客に向けてリサイクルの大切さに関する、普及・啓発に努めています。今回は、前号に引き続き、当公社で取り組んでいる「走る掲示板」と「環境学習用の啓発グッズの提供」について紹介します。

啓発ポスターをチ・カ・ホ展示

昨年度から開始した普及啓発活動のひとつで、札幌市内の小学4年生が「びん缶ペットボトルのリサイクル」をテーマに描いた啓発ポスターの最優秀作品を、当社のごみ収集車にラッピングしています。

市内のどこかで、毎日、このごみ収集車が走行していますので、出会えるチャンスがあるかもしれません。

今年度は札幌市立信濃小学校(厚別区)



信濃小学校(厚別区)
4年生の表彰者の皆さん



石山東小学校(南区)
4年生の皆さん

と札幌市立石山東小学校(南区)の両校から、応募のあった118作品の内、学校毎に最優秀賞を1作品ずつ選定しました。

最優秀賞2作品と優秀賞10作品を表彰し、応募者全員には記念品を贈呈しましたが、子供たちは、収集車の横で記念撮影をしたり、記念品のひとつである「収集車フルバックカー」を手を持ち走り回ったりして大変喜んでいました。



石山東小学校 表彰式風景

さらに今回から、児童が描いた全作品を多くの市民に見ていただくため、平成30年1月15日から1月25日までの11日間、「札幌駅前通地下広場(チ・カ・ホ)」に展示しました。



札幌駅地下歩行空間展示風景

特に土曜・日曜日は、人通りも多く、足を止めて作品に見入る親子連れも見受けられ、缶やペットボトルは潰して出し、とはいけないことを、この作品を見て初めて知った方もいるなど市民に対する啓発効果を実感できる展示となりました。

このたびの作品の応募に際しては、札幌市教育委員会様や学校の先生方、そしてポスターを描いてくれた児童とその保護者の皆様など、沢山の方々に協力をいただきました。誠に有難うございました。

環境学習用の啓発グッズの提供

札幌市内の小学校4年生の社会科で実

施される環境学習では、「ごみを減らすために」をテーマに、清掃工場や資源選別センター等の施設見学や、ごみを減らす方法について勉強をしています。

当公社では、キッズ用パンフレット、ペーパークラフト、クリアホルダーのセットを環境学習用の啓発グッズとして平成27年度より市内の4年生全員に提供しています。



キッズ用パンフレットは、家庭から出たびん・缶・ペットボトルのリサイクルの流れをイラストを交えて説明しており、誰でも簡単に理解することができます。

また、クリアホルダーは、ペットボトルの再生素材でできており、リサイクルが実感できます。

当公社では、子供のうちから、ごみ処理やごみの減量・リサイクルの大切さを学ぶなど、知識と資質の向上の助になればと考え、普及啓発活動に努めています。

中沼資源選別センター 施設紹介



札幌市環境事業公社が収集運搬する事業系の「びん・缶・ペットボトル」や、札幌市がごみステーションから収集している家庭系の「びん・缶・ペットボトル」は、当社が運営する市内2カ所の資源選別センターで中間処理され、資源として生まれ変わります。

東区のリサイクル団地内にある中沼資源選別センターは、平成10年10月から稼働しており、札幌市内から発生する約7割、年間24,000tの「びん・缶・ペットボトル」を選別処理しています。



選別センターに搬入される資源物のうち、スチール缶やアルミ缶は機械によって選別されますが、ペットボトルやびん類は作業員の手選別によって、1本ずつ品質を判断しながらリサイクルできるものを選別しています。ペットボトルだけでも1日に約70万本を手選別しているので大変な作業になります。

そこで、家庭系の「びん・缶・ペットボトル」を排出する皆様には、資源選別センターから4つのお願いをしております。

- ① 缶やペットボトルは潰さないで下さい。
- ② びん・缶・ペットボトル以外のごみを同じ袋に混ぜないで下さい。
- ③ びん・ペットボトルのラベルやふたは外して「容器包装プラスチック」の収集日に出して下さい。
- ④ びん・缶・ペットボトルは中を軽くすずいで下さい。

資源選別センターから4つのおねがい



以上のことを守っていただけると、施設での選別の精度が上がり、手選別作業員の負担も軽減されますので、ご協力をお願いいたします。

※一口メモ

【缶やペットボトルを潰してはいけない理由】

「びん・缶・ペットボトル」は混合収集をしているので、潰れていないペットボトルが緩衝材になってびん割れを防ぐこと、又、資源選別センターでは、風力選別機などの機械を使っているため、その選別精度を保つために、缶やペットボトルを潰してはいけないことになっています。



施設概要

施設名称：(一財)札幌市環境事業公社中沼資源選別センター
 TEL011-790-3253 FAX011-790-3255
 所在地：札幌市東区中沼町45番24(札幌市リサイクル団地内)
 施設規模：[敷地面積] 16,100m²
 [建屋] 建築面積 4,666m²、延床面積 7,187m²
 [施設概要] 処理能力 :110トン/日(8h)
 アルミ圧縮機 :2基
 鉄圧縮機 :2基
 ペット圧縮梱包機 :4基
 竣工 :平成10年9月

TOPICS

～札幌市を「ごみのいちばん少ないまち」へ～

札幌市は、これまで、家庭ごみ有料化や資源物の分別収集を行う「**新ごみルール**」を導入するなど、ごみの減量・リサイクルを進めてきました。

その結果、**清掃工場 1 カ所の廃止**や**埋立地の延命化**など大きな成果をあげることができ、着実にごみの減量・リサイクルが進んでいます。

札幌市は、平成 30 年度からの 10 年間におけるごみ処理の目標や取組を示した「**新スリムシティさっぽろ計画(案)**」を発表し、以下のとおりさらなるごみの減量を目指します。

基本目標

SAPPORO いちばん! 減らそう 100g
～ごみのいちばん少ないまちへ みんなで 3R～

今後は、資源物も含めたごみの減量を行い、札幌市の 1 人 1 日当たりのごみ排出量（資源物も含めた、家庭ごみ・事業ごみ全ての量）について、**政令市で最少***を目指します。

※基準値：2016 年（平成 28 年）度 827g → 目標値：2027 年度 730g
【政令市 4 位】 **約100g減!** 【政令市 1 位】



新スリムシティさっぽろ計画（案）のポイント

① 2R*の取組の優先

環境への負荷をできる限り抑えるため、3R のうち、リデュース（食品ロス削減など）やリユース（服や家具などの再使用）の 2R の取組を優先し、それでも出されるごみについてはリサイクルを推進します。

※ 3R（リデュース…ごみを出さないこと、リユース…繰り返し使うこと、リサイクル…再生利用すること）のうち、リサイクルを除いた、特に環境への負荷が少ない「リデュース」と「リユース」を併せて「2R」と言います。

② 事業ごみの減量に向けた取組の推進

これまで、家庭ごみを中心に減量を進めてきましたが、今後は**事業ごみの減量**にも重点的に取り組みます。

事業ごみの減量に向けた取組

○ 2510（にこっと）スマイル宴の推進

宴会開始後 25 分間と終了前の 10 分間は、自分の席での食事を推奨するもの。飲食店等における食品ロスの削減に取り組みます。

○ ごみの見える化

事業所から報告された処理実績報告書や事業ごみ指導員による立入開封調査のデータをもとに、古紙リサイクルの余地などを診断し、ごみの減量方法等を提案します。



平成30年3月発行

編集・発行／一般財団法人札幌市環境事業公社
札幌市中央区北1条東1丁目 サン経成ビル

●本誌に関するご意見、ご要望等

電話 219-2053 FAX 219-0882

●事業系一般廃棄物の収集全般に関すること

電話 219-5353 FAX 219-0053

<http://www.kankyou-sapporo.jp>



この情報誌は再生紙を使用しています。